

京都市

京都市は、まちの三方を囲む緑豊かな山々と、鴨川と桂川の清流が織りなす山紫水明の地に、悠久の歴史の中で磨き上げられた豊かな文化芸術や伝統産業、自然と共生する暮らしが育まれてきました。

また、人口の約1割の学生が学ぶ「大学のまち・学生のまち」、そして、豊かな文化芸術や伝統産業を源泉に、世界随一の企業を数多く生み出してきた「ものづくりのまち」でもあります。

京都の人やまちが長い歴史の中で培ってきた「まち柄」をいかし、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」を目指してまいります。

グルメ

京都には長い歴史とともに受け継がれてきた文化、そして四季折々の豊かな自然の中で、格式高く洗練された京料理、暮らしの知恵が詰まったおぼんざいなど、さまざまな食文化が育まれてきました。また、伏見は日本を代表する酒どころであり、酒造文化が根付いています。ぜひ、京都の食やお酒の魅力を知り、味わい、楽しんでいただきたいです。



観光スポット

京都府・京都市内各地には、歴史的・文化的な結びつきの強さや、豊かな自然といった地域固有の魅力があり、共通のテーマやストーリーで結ぶことで、京都観光の選択肢が広がります。京都全体を「まるっと」楽しんでもらいたい、新たな京都の魅力を見つけてみませんか？



特別区との連携実績、万博など

全国都市農業フェスティバル（練馬区開催）へ参画し、九条ねぎやみず菜等の京野菜の販売を通して都市農業の魅力発信に取り組んでいます。また、都市農業サロンでは、都市農業のファンづくりなどをテーマに自治体が抱える課題や取組の共有を行い、交流を深めています。



お茶 笠置町



京都府の南東部に位置する小さな町です。町のシンボルでもある笠置山を中心としたこの地は、地形全体が渓谷の様になっており、いたるところに巨岩奇石が見られます。春は桜、夏は新緑、秋は錦に染まる笠置山、冬は雪海、キャンプやカヌーなどのアウトドアは年間を通して、そんな四季を全身で感じることができます。歴史と美しい自然が調和する素朴な雰囲気魅力です。

観光スポット

笠置寺

笠置寺は、京都府の南部に位置する歴史的な寺院で、特にその美しい自然環境と文化的な価値から多くの観光客に親しまれています。山々に囲まれた静かな環境の中に位置し、四季折々の自然の変化を楽しむことができます。

笠置キャンプ場

木津川の自然を満喫できることはもちろん、キャンプ用品を取り扱うお店も隣接しており、年間を通して多くのキャンパーで賑わいを見せています。



食の祭典「KASAGI 銅フェスタ」

毎年冬に全国各地のご当地銘産品が集うイベントを開催しています。昨年度は町制施行90周年を記念し、イベントのフィナーレとして花火の打ち上げを行いました。毎年多くの方にお越しいただき、大盛況のイベントとなっています。



ver. 2025.6.5 特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 笠置町



お茶 宇治市



宇治市は京都や奈良の中間に位置し、古くから交通の要衝として栄えた街です。市の中央部には風光明媚な宇治川が流れ、美しい自然環境と豊かな歴史・文化遺産に恵まれています。

2024年大河ドラマ「光る君へ」の主人公、紫式部が記した世界最古の長編恋愛小説「源氏物語」の、うち最後の十帖は宇治を主な舞台としていることから「宇治十帖」と呼ばれており、宇治市は紫式部ゆかりのまちでもあります。京都アニメーションに作成いただいたキービジュアルを通じて宇治の魅力を解説するスペシャルサイトを公開中です。是非ご覧ください。

サイトURL <https://www.city.uji.kyoto.jp/murasakisp/>

グルメ

お茶といえば宇治というくらい宇治はお茶のまちとして知られています。特産品の「宇治茶」は、高級茶として広く知られており、近年では宇治抹茶を使用したスイーツなどが大変人気を博しています。スイーツ以外にも抹茶や宇治茶を使った抹茶カレーやコロッセ、宇治茶漬け、茶そば、茶粥などがあります。



観光スポット

世界遺産の平等院や宇治上神社をはじめ、昨年12月に国宝に指定された奥国情緒漂う萬福寺など多数の神社仏閣があります。他にも、「源氏物語」をテーマとした世界唯一の源氏物語ミュージアムや宇治の観光拠点の茶づつみ、市営茶室対馬屋など見どころたくさんです。さらに、玉露先祥の地である小倉地域に新たに二ッテンドーミュージアムがオープンするなど、新・旧の魅力にあふれています。

特別区との連携実績、万博など

渋谷区と宇治市を含む山城12市町村（お茶の京都）で連携し、令和2年度から4年度まで、「和文文化 × 多文化 関係人口創出プロジェクト」を実施し、山城地域の特産品の紹介やお茶の試飲、体験ツアーなどを行いました。現在、開催中の大阪・関西万博では関西パビリオン 京都ゾーン 食「お茶の時間」に宇治茶のふるまい等を行うブースを出展します（8月18日～24日）。

ver. 2025.6.19 特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力を巡る 宇治市



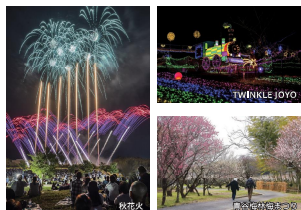
お茶 城陽市

城陽市は京都から五里、奈良から五里という双方の中間に位置し、古くから交通の要衝として発展してまいりました。市域の西を流れる木津川沿いには茶園が広がっています。また、古墳や史跡も数多く分布する、古代ロマンに彩られたまちです。

一方で、広域的な交通の要衝となる新名神高速道路（大津～城陽間）の工事が進められており、この新名神高速道路の開通にあわせ、市域の東部に広がる東部丘陵地では、京都府内初となるアウトレット等、大型プロジェクトが進められています。これらプロジェクトを通じて、本市のみならず京都府南部地域の活性化につながるまちづくりにより、本市は明るい未来に向かって大きく躍動しています。

観光スポット

秋花火（9月）、TWINKLE JOYO（12月）、青谷梅林まつり（2月～3月）など。



グルメ

宇治抹茶の原材料となる本市のてん茶は、全国茶品評会において何度も産地賞を獲得するなど、その品質は高く評価されています。他にも、城陽市特有の梅の品種である城州白や、東京・豊洲市場にも出荷しているイチジクなど、これら特産品を利用した様々な商品が開発されています。



特別区との連携実績、万博など



2020年から2022年まで「和文文化 × 多文化 関係人口創出プロジェクト」を実施。京都やましろ茶文化体験ツアーや子ども交流事業を通して、やましろ地域の事業者や生産者の方との交流を育みました。

また、大阪・関西万博を通じて本市の魅力を発信してまいりたいと考えており、完熟イチジクのまち京都城陽として、イチジクスタンプラリーの実施や城陽いちじくマルシェなどを開催予定です。

ver. 2025.6.19 特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 城陽市



お茶：木津川市

の京都

木津川市は、京都府最南端、大阪・奈良のほど近くに位置し、市の中央を流れる木津川の水運を利用した交通の要衝として早くから開けていました。奈良時代には木材の陸揚げ場として栄え、740年には平城京から藤原京に遷都され、首都が置かれていたことから、多くの国指定文化財を有しています。また、豊かな自然環境にも恵まれ茶畑が広がる地域があるほか、明治時代に120もの茶問屋が軒を連ねていた上狛南部地域には、現在もお茶の香りが漂う上狛茶問屋街があります。

一方で、関西文化学術研究都市（学研都市）の中核を担っており、市内には国際的な研究施設や「きつ光科学館ふおとん」などの体験施設、京都大学大学院農学研究科付属農場などの教育機関が立地しています。これら全国トップレベルの知の集積を活用し、新しい産業や事業の創出を進めています。また、研究施設やものづくり企業などと連携し、子ども達が最先端の科学技術やものづくりの魅力に触れる機会を設け、科学への興味を高め創造する心を育てています。

📷 観光スポット

木津川市の当尾地域にある浄瑠璃寺は、極楽浄土をこの世に表した庭園となっており、本堂には九体の阿弥陀如来坐像が安置されています。平安時代には同じような堂が30以上ありましたが、当時のまま現存するのは、浄瑠璃寺だけです。



🍴 グルメ

木津川市の茶畑で育てられた良質な茶葉を石臼で丁寧に引いた抹茶を使った神ティラミスや、抹茶をふんだんに使い職人が丁寧に焼き上げた美抹茶どらやきなど、茶畑や茶問屋街がある木津川市ならではの「お茶のスイーツ」が楽しめます。



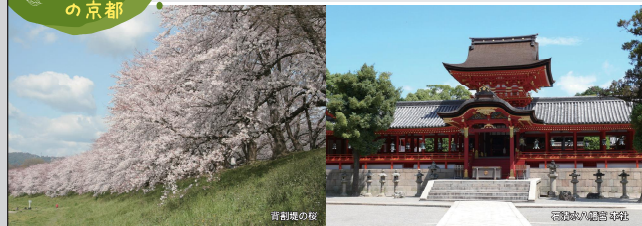
🎪 特別区との連携実績、万博など

4月13日に開幕した大阪・関西万博に合わせて、学研地域では「けいはんな万博2025」が開催されています。木津川市でも、けいはんな万博のイベントとして「木津川アート2025」を9月27日（土）から10月13日（土）まで開催します。



お茶：八幡市

の京都



八幡市は、京都と大阪の中間に位置し、市域の高速道路網の整備により各方面へのアクセスが抜群な地域です。日本三大八幡宮の1つである石清水八幡宮（国宝）をはじめとした多くの歴史文化観光資源、3つの川が合流し1つの大河となる三川合流域などの自然環境、八幡の竹をエジソンが発明した電球に使用したなどの物語が豊富で、その魅力を「八幡 STORY」で紹介しています。また、農産物や工芸品、和菓子など、八幡ならではの特産品を「ヤワタカラ」として認定し、地域の魅力を高めています。全国最年少女性市長のもと、八幡市の魅力を全国に発信していきます。



📷 観光スポット

国宝・石清水八幡宮をはじめとした神社仏閣や、史跡・名勝を有する松花堂庭園・美術館、流れ橋などの見どころが多く、春には、淀川河川公園 青割堤地区で約1.4kmにも及ぶ桜並木が咲き誇り、四季折々の自然が楽しめます。



🍴 グルメ

やわた流れ橋交流プラザ四季彩館の「八幡家」では、京野菜である九条ネギをはじめ、様々な地元産野菜を使用した料理がビュッフェスタイルで楽しめます。また、京都吉兆松花堂店では、創業者が考案した名物の「松花堂弁当」を味わっていただけます。



🎪 特別区との連携実績、万博など

令和3・4年度に実施した「京都やましろ地域 × 東京しぶや連携交流事業」において、八幡市産の九条ネギやタケノコを渋谷区の飲食店で提供していただきました。大阪・関西万博開催を契機とした、淀川舟運の復活に向けた取組にあわせ、川辺の賑わいづくりに取り組んでいます。

お茶：和束町

の京都

和束町は京都府南部の山間部に位置しており、緑の山々と清流が生み出す恵まれた自然環境の中で、古くから丘陵地において茶産業が営まれ、現在も宇治茶の主産地として知られています。

また、町のいたるところに広がる茶畑の美しい風景は「茶源郷」と称され、京都府景観資産第1号にも登録されています。

この美しい茶畑景観と茶文化が息づく和束町では、緑豊かな自然や集落と一体となった四季折々の茶畑景観を楽しむことができ、訪れる人々に豊かな時間を提供しています。

📷 観光スポット



「石寺の茶畑」は、天まで届くかのような壮大な緑の曲線美が美しい、和束町を代表する生業景観です。この地域は、和束町の中でも西に位置しており、「早場」と呼ばれ4月下旬にはお茶摘みが始まります。近くのカフェ「で」ゆっくりするのもおすすめです。



和束町では、環境に優しい新たな観光手段として、「グリーンスローモビリティ」を利用した運転手ガイド付茶畑周遊ツアーを実施しています。1周約70分のコースで、日本遺産に認定された茶畑やカフェ、地元の和菓子屋さんにも立ち寄り。開放的な車内に乗って、普段と違った和束の生業景観をお楽しみいただけます。

🍴 グルメ



和束茶はじまりは鎌倉時代と言われ、高級煎茶の栽培や、近年では国内外での抹茶人気の影響で、抹茶の原料となる碾茶生産量についても全国トップクラスを誇っています。自然豊かな和束町では、中央を和束川が流れ、昼夜の寒暖差が大きく露が立ちやすいため、露の自然露光による旨味のあるお茶が生産されます。黄金色に輝く水色も和束茶の特徴の一つです。

お茶：京田辺市

の京都

京田辺市は、京都・大阪・奈良への交通利便性と自然の恵みとの調和が魅力のまちです。同志社大学や世界に誇る企業による最先端の知識資源があり、関西文化学術研究都市の北の玄関口として一翼を担う一方、一休禅師が晩年を過ごした酬恩庵一休寺や大住華嚴寺など、歴史遺産や伝統行事にも恵まれ大切に受け継がれています。また、全国的に少子高齢化が進む中、若い世代を中心に現在も人口増加が続いており、活気に満ちたまちです。

📷 観光スポット

一休禅師が晩年を過ごした「酬恩庵一休寺」は、とんちの一休さんの寺として親しまれています。また、「大御堂観音寺」では国宝の十一面観音立像を安置しており、天平文化の華やかさを今に伝える奈良時代彫刻の名作です。さらに、令和7年3月には緑と農に親しむ公園「京田辺クロスパーク（タナクロ）」がオープンし、バリアフリーの施設で農体験やプレイパークでの遊びを楽しむことができます。



🍴 グルメ

農林水産大臣賞を受賞するなど全国有数の「玉露」の産地で、ふくやかな香りと甘さや旨味があるのが特徴です。お茶に含まれる旨味成分のテアニンは、日光に当たると渋み成分のカテキンに変わりますが、玉露の場合は、茶園に覆いをかぶせ日光を避けて栽培するため、旨味が多く含まれるようになります。



🎪 特別区との連携実績、万博など

令和4年には、京都山城地域の各市町村と東京渋谷区との連携プロジェクトの一環として開催された「お茶の京都大茶会」に出展し、宇治茶や関連商品のPRに参加しました。令和7年4月には、大阪関西万博関西パビリオン多目的エリアで「MEET UP KYOTOきょうと大集合」が開催され、京田辺市と京田辺市観光協会が共同で出展し、京田辺の特産品などをPRしました。



お茶

の京都

くみやま ちょう 久御山町

久御山町（令和6年4月1日現在）



東西の距離 3.5%
南北の距離 4.3%
昼夜間人口比率 206.6%
平均気温 17.1℃
年総雨量 1,191%
販売農家数 260戸
製造品出荷額 約2,853億円
予算規模 約100億円
(令和6年度当初予算)



観光スポット

前川堤の桜並木

「京都の自然 200 選」にも選定されており、約 300 本を数えるソメイヨシノが、両岸の堤を埋め尽くすように咲きそろう桜は見事です。



前川堤の桜並木

くみやまタワー 137

久御山町の「南のランドマーク」である K B S 京都ラジオ電波塔。日没から 24 時まで毎日ライトアップしており久御山町の魅力を発信しています。



くみやまタワー 137

流れ橋と両岸上津屋・浜台の「浜茶」の景観

令和 3 年に行われた全国茶品評会の「茶部門」で、全国 1 位の産地賞を受賞しました。この浜茶の景観は、日本遺産に認定されており、茶畑や木津川の景色が広がっています。



流れ橋と日本遺産「浜茶」

特産品・土産



夢酒くみやま

フルーティな香りと上品な味が特徴の精米歩合 60 俵の純米吟醸酒で、久御山町内で育てられた「京の輝き」を使用しています。



九条ネギ

京のブランド産品の一つで、甘みがあり、柔らかく、いろいろな料理に合います。久御山町では生産が盛んに行われています。

お茶

の京都

うじた わら ちょう 宇治田原町

京都府南東部に位置する、日本緑茶発祥の地・ハート形のまち「宇治田原町」。鎌倉時代に茶の栽培がはじまり、江戸時代中頃、現代の緑茶製法の礎となる「青製煎茶製法」がこの地で生まれました。古くから山城地域と奈良・近江を結ぶ交通の要衝でもあり、いにしへの時を伝える歴史スポットも点在します。豊かな自然と歴史、そしてお茶文化に育まれたこの町では、人をもてなす一杯のお茶のように、くつろぎ安らぐ、そんなひと時が過ごせます。



観光スポット

家族連れなどのアウトドアで人気の末山・くつわ池自然公園のほか、茶畑を一望できる西ノ山展望広場、緑茶を全国に普及させた永谷宗円翁の生家や観光・交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」などの観光スポットがあります。住民同士の交流が盛んで、春は茶摘み体験・秋は田原祭など、季節毎の行事を通じて、自然と文化に触れることができます。



くつわ池

西ノ山展望広場

グルメ



江戸時代から食べ続けられる郷土料理「茶汁」。茶摘みや畑仕事をする茶農家が、農作業の合間に屋外でも手軽に作ることでできる汁ものとして、飲むために持参していたほうじ茶を使用した茶汁を食べていました。お椀に味噌、身欠きニシンや乾燥タラといった持ち運びしやすい魚類、手近な畑でとれた青菜を入れ、そこに熱いほうじ茶を注いで完成です。(味付けや具材は、各家庭や作る人によって多少異なります。)代々受け継がれる郷土料理で、文化庁の「100 年フード」に認定されています。

大阪・関西万博



8 月 20 日 (水)・21 日 (木) の 2 日間、大阪・関西万博の関西パビリオン京都ゾーンで本町ブースを設置し、来場された皆さまを煎茶や緑茶でおもてなしします。万博で色々なお茶を味わい、お茶の世界に触れてください。お待ちしております。

お茶

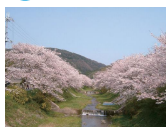
の京都

いで ちょう 井手町

井手町は、京都と奈良、二つの古都の間に位置する小さなまちですが都市近郊にありながら、市街地には澄んだ清流が流れ、両岸の堤には桜や山吹をはじめ四季折々に咲き乱れる草花が彩りを添えるほか、初夏の夜にはゲンジボタルが舞うなど、豊かな里山に囲まれたのどかな情景を色濃く残しており、奈良時代の昔から歌の題材として有名だった美しいまちです。

また、特に子育て対策に力を入れているまちであり、出産時の助成金の充実、保育園から中学校卒業までの給食無料化、18 歳までの医療費無料化、第 2 子以降の保育料の無償化など、出生率の向上、子育てにやさしいまちづくりに取り組んできています。

観光スポット



井手町の玉川は、環境省が選定する「平成の名水百選」に選ばれています。また、万灯呂山は、京都府景観資産に登録されており、府内有数の貯水量を持つ大正池は、農林水産省が選定するため池百選に選定されています。春には桜まつりが開催され、玉川の両岸に 1,500 メートルにわたり桜並木が続いており、地藏禅院のしだれ桜は、京都府指定天然記念物に指定されています。

グルメ

井手町は春の味覚を代表するだけのこの名産地です。また、特産品として、お茶やみかんなどの農産物の加工品があります。ほかにも、井手黄金プリンや手作りのみそなどがあり、井手町の新たな特産とすべく「井手くるめ」として豚骨ベースの「井手じゃんめん」、昔から親しまれている「かしわのすき焼き」、ホルモンやこんにゃくなどの「井手てんぷら」などがあります。



特別区との連携実績、万博など



井手町は、渋谷区と連携して、東京の資源を活用した京都の茶文化進化事業として、大茶会と併せて宇治茶玉露や煎茶、京たけのこ等の物品販売を行い、地域の PR を行いました。また、大阪・関西万博を契機に、井手町の魅力を発信するため、関西パビリオンでの出展や、京都府が行っている「まるごと博覧会」や「Eki spot KYOTO」にも積極的に参加し、特産品の販売等を行っています。



お茶

の京都

せい か ちょう 精華町

お茶の京都・東京しぶや特産品づくりとして、「究極のやましろお茶セット」の開発を行い、令和 5 年 2 月に渋谷区で京都やましろ地域を「買う」「知る」「体験する」イベントで体験いただきました。精華町より特産品のいちごを使った紅茶や酢、広報キャラクターの京町セイカグッズを販売しました。今後とも都市と地方の双方がともに発展・成長できる関係づくりを進めてまいります。



精華町広報キャラクター京町セイカ

観光スポット

メインストリートの「精華大通り」沿いには、メタセコイア並木が続き、初夏には新緑、秋には赤茶色に染まった紅葉など、美しい風景を楽しむことができるほか、四季折々の風景を楽しめる公園、複合型温浴施設など、大人も子どもも楽しめるスポットが数多くあります。



精華大通り



国体自転車ロードレース「ツッパ・オブ・ジャパン」2025 JPF 京都ステージは、今年もゴールは精華大通りでした。

グルメ

精華町はこだわりの食材を使ったケーキや和菓子など、多くの和洋菓子店が集まる「スイーツのまち」として注目のエリアです。また、「いちごのまち」としても有名で、冬から春にかけていちご狩りを楽しむことができる観光農園では、シーズン中多くの方で賑わいます！



精華町の観光情報を発信中！是非、二次元バーコードよりご確認ください。



みなみ やましろ むら
南山城村

わらちゃ普林

 大阪・関西万博



「京都やましろ地域×東京しずや連携～和文化×多文化関係人口創出プロジェクト～」では、村で渋谷区の子どもたちが茶摘み体験をしたり、渋谷区で村産商品を販売したりしました（令和2～4）。大阪・関西万博ではお茶の産地を体験できる特別ツアーを販売予定です。

企画・制作
Philart
フィラール

龜岡市

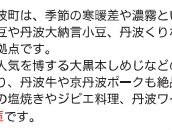
東横線トロッコ列車と保津川下り

 万博など

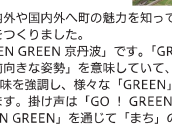
2026年9～11月に、亀岡市・南丹市・京丹波町と京都府の連携により、国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化フェアin京丹波」(京丹波みどりの里まつり)を開催します。食農と環境そしてアートで輝く「京丹波」をテーマに、地域の魅力を最大限に発信していきます。

企画・制作
Philart
アートの未来

ぎょう たん は ちょう
京丹波町

 観光スポット

 タウンプロモーション



京丹波町では、地域内外や国内外へ町の魅力を知ってもらおうとタウンプロモーション方針をつくりました。

キーワードは、「GREEN GREEN 京丹波」です。「GREEN」は「自然、健康、成長、新鮮さ、前向きな姿勢」を意味していて、「GREEN GREEN」と続けることで、意味を強調し、様々な「GREEN」が存在する多様性と共鳴を表現しています。掛け声は「GO！ GREEN GREEN」。私たち京丹波町は「GREEN GREEN」を通じて「まち」の枠を超え、世界として広がっていくことを目指しています。

企画・制作
Fhilarit
フイリティア

なん たん し
南丹市

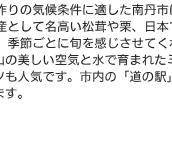
美山かやぶきの里

ポット



グルメ

グルメ



肥沃な土と豊かな水、米作りの気候条件に達した南丹市は、全国有数のお米の産地です。また、丹波産として名高い松茸や栗、日本では有数の透明度を誇る清流で育った鮎など、季節ごとに旬を感じさせてくれる逸品がたくさんあります。美しい美しい空気と水で育まれたミルクで作られた乳製品・スイーツも人気です。市内の「道の駅」では、様々な特産品が購入できます。

企鵝・飛行
Philart
Z i t e -

海
の京都

舞鶴市



京都府北部に位置し、日本海に面した港町、舞鶴市。海軍の鎮守府が置かれた海軍ゆかりの町東地区と、田辺城の城下町として栄えた西地区という二つの歴史的な顔を持ちます。戦後は海外からの引揚港として重要な役割を果たし「平和を発信する港」としても知られています。リアス式の美しい海岸線や緑豊かな山々に囲まれ、四季折々の自然景観も大きな魅力。歴史、文化、そして雄大な自然が調和し、訪れる人々に深い感銘を与える、多様な魅力にあふれた街です。

グルメ

新鮮な海の幸が豊富な舞鶴。冬の舞鶴かに、夏の岩牡蠣は絶品！万願寺甘とうや舞鶴茶などの農産物も豊富です。また、舞鶴市発祥の「肉じゃが」や「カレー」、「ホットウエスキ」などの海軍ゆかりのグルメもぜひ。



観光スポット

国の重要文化財にも指定される「舞鶴赤れんがパーク」や舞鶴湾を一望する「五老ヶ岳公園」は必見。戦後の歴史を伝える「舞鶴引揚記念館」、新鮮な海の幸が揃う「舞鶴港とれとれセンター」も人気です。



特別区との連携実績、万博など

舞鶴市は大阪・関西万博を全力応援！公式キャラクター「ミャクミャク」の市内名所での登場イベントや、人気ゲームと連携した周遊企画「リアル桃太郎電鉄」への参加を通じ、地域の魅力と共に万博の機運を高めています。

ver. 2025.6.19

縮尺

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力

京都府

Philart

海
の京都

与謝野町

与謝野町は、京都府北部、丹後半島の付根に位置し、鬼退治伝説で有名な大江山連峰の山々を背に、町内を流れる野田川流域を中心に平野部が広がり、日本三景天橋立を望む阿蘇海へと続いています。

総面積108.38 平方キロメートルの範囲に約2 万人が暮らし、南北約20 キロメートルの間に町並みや集落が連なるまとまりの良い地域です。

春は桜、夏は新緑、秋は黄金色の稲穂と紅葉、また、冬は雪景色など、四季を通じた豊かな自然の彩りに包まれています。

観光スポット

ちりめん街道

与謝野町加悦地域に位置する旧街道の愛称です。町家の7、8割が、昭和初期に建築され、江戸時代のものである歴史的な町並みです。近代の洋風建築物や近代化遺産の機楽場、職工住宅も混在しています。



御財印で結ぶ 与謝野町めぐり

与謝野町観光協会が、町めぐりを楽しんでいたため、与謝野町の資源で「御財印」を作成。古墳から国重文の蒸気機関車、縁起の良い千年橋まで、魅力がいっぱいです。



グルメ

ハレの日の食卓

与謝野町は、春に「祭りのまち」となります。神輿等が各地区内を巡行し、そのルートは、江戸時代からの道を通ることが基本となっています。

そうしたお祭りやお祝い事など「ハレの日」の郷土料理として、「ばらすし」が、生活の中に根付いています。最大の特徴は、サバのそぼろを使うことで、酢飯の甘味が強いことも特徴です。



ver. 2025.6.12

縮尺

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 与謝野町

京都府

Philart

海
の京都

福知山市

木
の京都

京都府の北部に位置する福知山市は、明智光秀が築いた城下町として知られ、まちのシンボルである福知山城の天守閣からは、城下町と由良川が一望できます。鬼伝説の残る「大江山」、名店が揃う「肉グルメ」、知る人ぞ知る「絶品スイーツ」など、まだまだ知られていない「いがいと！」な魅力にあふれたまちです。

自然の恵みを存分に受けた豊かなグルメが揃っており、「住みよさランキング2024」で近畿圏内においても上位を獲得。「ほどよく街で、ほどよく田舎」なまちとして、多様な移住者が集まっています。



グルメ

福知山市では、丹波栗や丹波黒大豆をはじめとした和・洋菓子店が約50軒もあり、「スイーツのまち」としても発信しています。また、かつて西日本三大家畜市場のひとつがあり、食肉流通を支えてきた福知山市は、「肉のまち」でもあり、鴨すきや京地鶏、シビエなど多様なグルメを味わうことができます。



観光スポット

戦国武将・明智光秀が築いた「福知山城」は福知山市を代表する場所です。そのほか、鬼の棲家としての伝説がある「大江山」、30～38万年前に京都府で唯一の火山によって形成されたとする「夜久野高原」、府指定有形民俗文化財に指定されている「大原の産屋」など、身近に自然を感じることができます。



万博

「2025 年大阪・関西万博」では、市民や市にゆかりがある人が、本格的な鬼のお面を制作し、鬼に扮して会場やその付近を練り歩いた「大江山酒呑百鬼夜行」など、福知山が誇る文化や魅力を国内外にPRします！



ver. 2025.6.19

縮尺

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 福知山市

京都府

Philart

海
の京都

綾部市

木
の京都

騒がしい都会を離れ、京都市より北西へ約1 時間。海の京都と森の京都の綾部市で日本の原風景と由良川の清流に心洗われ、里山の緑に深呼吸。国宝・光明寺二王門などの歴史的建造物が佇み、まるでタイムスリップしたかのように、地元食材を活かした素朴で味わい深い料理は、疲れた心と体を優しく満たしてくれます。夜には満天の星空が広がり、市内の農家民宿やキャンプサイトで感動体験を。あなただけの特別な休日を見つけてください。

グルメ



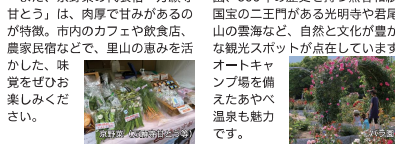
観光スポット



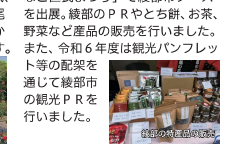
特別区との連携実績 万博など



綾部市は、香り高く上品な味わいの「綾部茶」が特産です。また、京野菜の代表格「万願寺甘とう」は、肉厚で甘みがあるのが特徴。市内のカフェや飲食店、農家民宿などで、里山の恵みを活かした、味覚をぜひお楽しみください。



令和4 年度はプロジェクトを通じて関係築いた「港区」の「みなと区民まつり」で綾部市ブースを出展。綾部のPRやとち餅、お茶、野菜など商品の販売を行いました。また、令和6 年度は観光パンフレット等の配架を通じて綾部市の観光PRを行いました。



ver. 2025.6.20

縮尺

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 綾部市

京都府

Philart

海の京都

京丹後市

京丹後市は、近畿最北の丹後半島に位置し、全域が「ユネスコ世界ジオパーク」に認定される自然豊かな「海の京都」のまちです。また、日本の稲作発祥に縁をもつ神話、古代の絹やガラス工房・製鉄の文化、丹後王国など、古代の歴史ロマンあふれる、なつかしい日本のふるさとでもあります。そして今、観光立市としても歩みを進め、海、山、里の豊かな食材にあふれ、その恩恵も受け、百寿者の住民が全国平均の3倍以上に恵まれる福寿のすむまちで、その豊かな食材との関わりも注目されています。また、生産量日本一の絹織物や高品質な機械金属などのものづくりもまちの魅力です。

観光スポット

地元の食材や数多くある温泉と旅館を楽しみながらジオパークを巡るジオトレイルツアーや遠浅の海岸線を利用したシーカヤックやSUP。青の洞窟やコバルトブルーの海を巡る体験ツアーなど、自然や地質、産業、食を体験し味わう「体験型・滞在型観光」が満載です。



グルメ



多彩な地形が生み出す気候・風土・土壌によって育まれる丹後産コシヒカリや京たんにメロンをはじめとした高品質な食材の宝庫で、丹後ばら寿司など伝統・郷土料理に受け継がれる食文化が日本有数の「百歳長寿の里」を育み、我が国で初めて創設された「美食都市」にも認定されました。

特別区との連携実績、万博など

京丹後市を含む丹後地域は人口10万人あたりの百寿者数が全国平均の2倍から3倍と「世界有数の長寿地域」となっており、大阪・関西万博を契機に、6月には京都府立医科大学を中心にして「世界長寿サミット」を開催。この特性を世界に発信し、新たな交流・関係の拡大を進めています。



ver. 2025.6.18
縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 京丹後市



海の京都

宮津市

天恵の自然と悠久の歴史にはぐくまれたまち



宮津市は、京都府の北西部、丹後半島の付け根に位置し、青い海と緑の山々に囲まれた自然豊かで風光明媚なまちです。シンボルは日本三景・天橋立、川から流れ出る砂と海の潮の流れが、幾千年もの歳月をかけてつくり上げたすくねれた自然の造形です。その神秘的な姿は、数々の神話や信仰を生み出し、文人墨客をはじめ、多くの人々を魅了し続けています。

観光スポット

日本海の宮津湾にある「天橋立」は、陸奥の「松島」・安芸の「宮島」とともに、日本三景とされている特別名勝のひとつです。幅は約20～170m・全長約3.6kmの砂嘴でできた砂浜で、大小約7,000本もの松が茂っている珍しい地形で、その形が、天に架かる橋のように見えることから「天橋立」の名がつけました。8月には、日本三大燈籠流しの一つとして数えられる「宮津燈籠流し花火大会」が開催され、精霊船と紅白約1万個の通つ掛け燈籠が宮津湾を漂い、幻想的な情景のなか放たれる約3,000発の花火は必見です。



グルメ



鯛しゃぶ

鯛しゃぶ発祥の地、宮津。花のように美しくお皿に盛り付けられた薄切りの鯛は、松葉菜ごと並ぶ冬の味覚の代表です。



宮津カレー焼きそば

宮津のソウルフード。昭和30年頃から営業していた平和軒が元祖といわれており、カレースープの汁気が店舗ごとに異なり、それぞれの味わいが楽しめます。



丹後とり貝

京のブランド産品。大きいものでは殻の直径が10cm程にも成長します。毎年5月頃から市内の飲食店で食べることができます。

みんなが活躍する豊かなまち「みやづ」

宮津市は、行政と市民・事業者の皆さんが共に汗をかき、新しい価値を一緒に創り上げていく「共創のまち」を将来像に掲げ、宮津市に住む人、関わる人、一人ひとりが、それぞれの希望に応じた役割や生きがいをもって活躍することができるまちづくりを進めています。「選ばれるまち「みやづ」」に向け、「新たな人の流れの創出」「住環境の充実」「子育て環境、教育環境の充実」「魅力ある働く場づくり」など総合的な移住定住対策等を強力に推し進めるとともに、人口減少という本市の最大の課題の解決に向けて、様々な事業に果敢にチャレンジしています。

ver. 2025.6.12
縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 宮津市



海の京都

伊根町



伊根町は日本海に面し、京都府の北端に位置する町です。伊根の代名詞といえば「伊根の舟屋」。伊根町の漁業の象徴とも言える舟屋群は、漁村として初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。伊根湾を取り囲むように舟屋が立ち並び情緒溢れる風景は「日本のヴェネツィア」とも呼ばれ、国内外から訪れる多くの人の心を魅了します。

観光スポット

伊根湾には約230軒の舟屋が建ち並んでいます。舟屋とは、もともと船を海から引き上げて、風雨から守り乾燥させるために建てられた船のガレージで、漁師の仕事場としての機能が主ですが、現在では、その舟屋を改修し宿泊施設としても活用されています。



グルメ

水質のきれいな伊根湾で丹精込めて育てられた伊根産ガキ『夏芽』は、春から初夏にかけて旬を迎え、癖がなくミルクたっぷりの濃厚な味わいが特徴です。また、11月から2月頃が旬の鯛は、伊根町が日本三大鯛漁場の一つに数えられるほど漁獲量が多いこともあり「ぶりしゃぶ」が人気で、全国各地から多くの方が訪れます。また、豊かな清流と恵まれた気候を利用して、品質の高い京野菜、丹後産コシヒカリ、筒川そばなどを栽培しています。

舟屋の町並みに溶け込むように作られた「舟屋日和」は、2017年に誕生した観光交流施設です。施設内には、海の幸を堪能できる割烹レストランや、スイーツやドリンクが味わえるカフェなどがあり、美しい景色を眺めながら、ゆったりと流れる伊根の時間を過ごすことができます。



ver. 2025.6.17
縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 伊根町



竹の里・乙訓

長岡京市



長岡京市は、京都と大阪の間に位置し、自然豊かな環境と歴史が息づくまちです。JRや阪急電鉄の駅があり、京都や大阪へのアクセスも便利で、都市の利便性と穏やかな住環境が両立したベッドタウンとして、暮らしやすいまちづくりを進めています。約1,200年前には「長岡京」という都が置かれ、平安時代の歴史的な背景を持つまちで、市内には古い神社やお寺が点在しています。

観光スポット

歴史ある寺社と美しい自然が織りなす観光スポットが多数あります。

春 キリシマツツジが咲き誇る長岡天満宮

初夏 あじさいや花手水で人気の櫛谷寺

秋 紅葉の名所として名高い光明寺など

四季を通じて訪れるたびに異なる表情を楽しめる名所が点在しています。

グルメ

名産のたけのこ料理はもちろん、「竹の子最中」などのスイーツやコーヒー店が多くあり多彩なグルメが楽しめます。ヨーロッパの宮殿を思わせる「喫茶フルール」は、レトロなカフェとして人気。全国的に有名な菓店「小倉山荘」は長岡京市に本店があります。



ver. 2025.6.18
縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 長岡京市



向日市は京都府の西南部に位置し、利用できる鉄道駅が5駅あることから、京都の中心部や大阪方面へのアクセスに非常に優れています。

また、有史以来人が住み続けており、かつての都、長岡京の中心地である長岡宮が置かれた地域でもありますことから、史跡大極殿跡をはじめ数多くの歴史・文化資源が今も残っており、大切に守り伝えられているほか、タケノコを産出する美しい竹林が広がる緑豊かな自然にも恵まれております。

市域 7.72 平方キロメートルと西日本の市の中で一番面積が小さいまちですが、豊かな自然と歴史資源がぎゅっと詰まった魅力あるまちです。

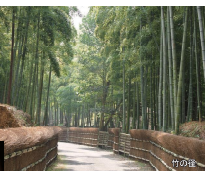
📷 観光スポット



向日市の観光情報の提供に加えて、地元の新鮮な野菜や、向日市ならではのお土産の販売、そしてカフェダイニングも併設している『まちてらすMUKO』は、観光でおよする方々の交流拠点となっています。

人気の観光スポットとしては、8種類の竹垣が整然と連なる全長約1.8kmにおよぶ散策路『竹の径』があります。竹が織りなす光と影のコントラストは絶景で、旅行情報誌じゃらの「行ってみたい新緑絶景スポットランキング」(2018年)で全国1位に選出されました。

秋に開催されるライトアップイベント『竹の径・かぐやの夕べ』では、約4,000本の竹行灯が、訪れる方々を幻想的な世界へ誘います。



🍴 グルメ

向日市は日本一のタケノコの産地として全国的に有名です。京都市軟化栽培法という伝統的な方法で育てられ、白くやわらかな上級のタケノコを栽培しています。

また、約70店舗が加盟する『京都府向日市激辛商店街』があり、和食、洋食、中華料理のみならず、デザートにいたるまで、様々な激辛メニューが用意されています。激辛商店街主催のイベントも開催されており、激辛ファンにとっては、見逃せないイベントのひとつです。



ver. 2025.6.20

縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 向日市

企画 制作
Philart
デザイン

歴史と自然が紡ぐ 京都の魅力

～「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」「竹の里・乙訓」を巡る～

日本文化のふるさと、日本の歴史の舞台、京都。

京都では、丹後から山城までの各地域において、先人たちは自然と共生しながら、個性豊かな文化と産業を築き上げてきました。

各地域は密接に連携しつつ、常に内外の多様な文化を受け入れ、伝統の上に創造を積み重ね、世界の人々が集う今日の京都へと至りました。

今回の全国連携展示では、私たち京都府の26市町村の多彩な魅力の一端をご紹介します、全国各地の自治体の皆様との豊かな交流や実り多い連携につながることを願っています。

このような貴重な機会をご提供いただきました特別区長会の皆様に改めて感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



京都市市長会会長 長岡京市長
中小路 健吾 (なかみち けんご)



京都府町村会長 伊賀町長
吉本 秀樹 (よしもと ひでき)

ver. 2025.6.18

縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 会長挨拶

企画 制作
Philart
デザイン

古くから交通の要衝で、京の都の玄関口として栄えた大山崎町。京都盆地の南西端である乙訓地域の南部にあり、大阪府島本町と接しています。

鎌倉・室町時代には「荏胡麻油」の生産が有名で、荏胡麻油生産者である神人たちの活躍により経済力を持ち、活気に満ちた自治都市として広く知られるようになりました。

町内に山崎の戦いで知られる天王山を有しながら国宝クラスの名所も多数あり、面積約6 km²という小さな町域ながら、歴史と文化を誇る大都市近郊の自然豊かなまちです。



📷 観光スポット

天王山 - 天下分け目の戦い (山崎の戦い) -



天正10年(1582)、本能寺の変をおこした明智光秀と、光秀を迎え撃った羽柴秀吉との戦いで、天王山を先に制した秀吉が勝利しました。織田信長亡き後の天下を決めたこの戦いにちなみ、勝負を決する分岐点を「天王山」と呼ぶようになったことは有名です。

この山崎の戦いや、幕末の禁門の変で敗れた志士十七人が自害して果てた場所としても知られる天王山では、片道約1時間のコースで、秘められた歴史探索が楽しめます。



アサヒグループ大山崎山荘美術館

ニッカウヰスキー設立への参画や、朝日麦酒株式会社(現アサヒグループホールディングス株式会社)初代社長・山本爲三郎との親交があったことで知られる実業家・加賀正太郎の山荘を生かした美術館。

昭和初期に完成した本館と、建築家・安藤忠雄設計の地中館「地中の宝宝箱」・山手館「夢の箱」からなり、年3～4回の企画展とあわせて、民藝運動にまつわる作品や印象派クロード・モネの《睡蓮》連作などを展示しています。



ver. 2025.6.20

縮尺 -

特別区全国連携プロジェクト 歴史と自然が紡ぐ京都の魅力 大山崎町

企画 制作
Philart
デザイン